

枚方市立川越小学校



「子どもが主役」の川越小

【子どもと共に育ち合う学校像】

「みんなが安心 みんなで創る

一人一人が輝く ごきげんに生きられる学校」

運動会特別号

枚方市立川越小学校通信
令和7年9月3日
校長 吉川 茂樹
TEL 050-7102-9120

運動会についてのお知らせ

～誰一人取り残さない、誰もが安心して輝ける運動会をめざして～

本校では今年度より、「みんなが安心 みんなで創る一人一人が輝く ごきげんに生きられる学校」を学校経営方針として掲げ、教育活動のあり方を見直しながら、よりよい学びの環境づくりに取り組んでいます。

その中で、私たちが今、特に大切にしているのは、「他人と比べてどうか」「どう評価されるか」ではなく、「自分の頑張りや成長に、自分で気づき、認める力」を育てることです。これは、自己肯定感や自己評価力、さらに自分自身の行動や考えを客観的に振り返る「メタ認知力」につながる、これからの時代に求められる力です。

そして、こうした力を育むうえで、教師の役割も変化しています。

かつてのように「一方的に教える存在」から、今は、子どもの学びに寄り添い・引き出し・つなぐ伴走者やファシリテーターとしての役割が重視されています。教師は、学びの途中にある子どもたちを見守り、必要に応じて手を差し伸べ、一人一人が自分のペースで挑戦・成長できるよう、環境を整え、必要な配慮を行う支援者であることも求められています。

私たち教職員も、「誰一人取り残さない」学びのあり方をめざして日々実践を重ねています。運動会も、その方針のもとで見直しを進めました。



◎ 子どもが“主役”の運動会へ

今年度は、プログラムのタイトルや入退場・競技中の音楽などを、子どもたちの発達段階に応じて意見を取り入れながら、教師と一緒に形にしていきます。また、団体演技の一部にも、子どもたちが考えた振り付けや動きを取り入れ、「自分たちでつくる」ことを大切にします。

学習指導要領の体育の表現運動には、「自由に表現する喜び」「創造的な動きへの挑戦」「互いのよさを認め合うこと」が示されています。本校の運動会も、子どもたちの“ごきげん”があふれる場となるよう、主体性・創造性・対話を大切に取り組んでいきます。

(裏面あり)

◎ 勝ち負けより、成長やつながりを感じる運動会に

今年度から、「得点による紅白対抗」は行いません（団体競技を行う学年で、演出上、勝敗をつける場合もありますが、得点はありません）。

「赤が勝った」「白が勝った」ではなく、「**自分なりに頑張れた**」「**仲間と協力できた**」と実感できる経験を大切にしたいと考えたからです。

結果にとらわれず、「昨日の自分」「過去の自分」と比べて**成長を感じられる運動会**に。さらに、仲間を応援し、その頑張りに「いいね！」と言えることも大切な学びです。**すべての子どもが、誰かの支え手・応援者になれる場**をめざします。

◎ 多様な子どもたちが安心できる運動会に

これまでの運動会では、男女別のペアで体を寄せ合うような動きや、型をそろえる演技などがありました。中には、「ちょっと恥ずかしい」「苦手」と感じながらも言い出せなかった子どもたちもいたかもしれません。

私たちは、身体の接触自体が問題なのではなく、「選べない」「断れない」ことが課題だと捉えています。そこで、子どもたちが安心して表現できるよう、**演技の内容や関わり方に選択の幅を持たせる**などの工夫を行います。

「一人一人が輝く」ために、**自分の気持ちを大切にしながら、仲間とともに創る楽しさを味わえるような運動会**をめざします。

◎ 安全面を最優先に

事故やけがのリスクが高い組み立て型の集団演技は行いません。また、熱中症や疲労への対策も万全に行い、すべての子どもが、**最後まで安心して参加できる運動会**とします。

◎ ご家庭の皆様へお願い

今年度の運動会は、「勝ったかどうか」ではなく、「**どう頑張ったか**」「**どんな工夫をしたか**」「**どう成長したか**」を大切にしています。

どうかご家庭でも、結果だけでなく、その「**過程**」や「**挑戦**」に目を向けた声かけをお願いいたします。子どもたちが「**自分自身のいちばんの応援者**」になれるよう、私たち教職員もともに寄り添い、支えてまいります。

今年度の運動会への、温かいご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校ブログ⇒
絶賛更新中

